

## 陸側遮水壁（凍土壁）未凍結部の閉合に係る現場確認結果について

平成28年12月5日  
福島第一原子力規制事務所

### 1. 目的

陸側遮水壁山側（西側）未凍結箇所7箇所の内、2箇所（5ブロック・7ブロック）を閉合（凍結作業）を行うことから、現場確認を行った。

### 2. 確認日時、場所及び確認者

日時：2016年12月3日（土）9：20～11：00

天候：晴れ

場所：陸側遮水壁山側（西側）1号機R/B付近の西①5ブロック及び4号機R/B付近の西⑤7ブロック

### 3. 現場確認結果

凍結作業は東京電力立会いの下、協力会社作業員により陸側遮水壁山側（西側）未凍結箇所7箇所の内、1号機R/B付近の西①5ブロック（凍結管9本）、4号機R/B付近の西⑤7ブロック（凍結管10本）、合計19本の凍結管の凍結作業が実施された。

当該作業は西⑤7ブロックより開始され、協力会社作業員は凍結操作（冷却材（ブライン）の循環）に必要なヘッダー管入口弁→凍結管弁→戻りヘッダー出口弁等の開閉状態の確認を行った後、温度差及び圧力変動による配管損傷防止のため、送りヘッダー管入口弁を徐々に開いて冷却材を通水するとともに、冷却材の通水確認を凍結管等（保温材）の表面を触診し冷感を感じるにより行っていた。

なお、凍結作業は35M盤にある凍結プラント電気品室にて、冷却材の温度・流量の確認を行いながら実施していることを東京電力からの聞き取りにより確認した。

### 4. 現場写真（検査官撮影）



【写真1】4号機R/B付近の西⑤7ブロック全景。



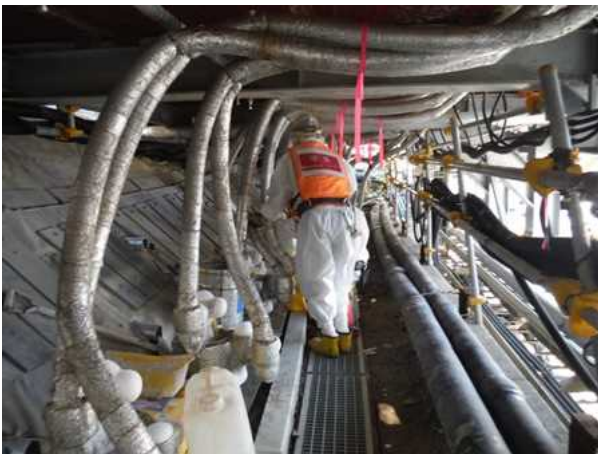
【写真2】4号機R/B付近の西⑤7ブロックでの凍結管の弁操作状況を確認。



【写真 3】4号機R/B付近の西⑦ブロックでの凍結管入口弁の開操作状況の確認。



【写真 4】1号機R/B付近の西⑤ブロックの全景。



【写真 5】1号機R/B付近の西⑤ブロックでの凍結管の弁操作状況。



【写真 6】1号機R/B付近の西⑤ブロックでの凍結管入口弁の開操作状況の確認。



【参考写真1】凍結管ヘッダー入口弁、出口弁



【参考写真2】凍結管